

100-302

問題文

地区の小学校の校長から担当の学校薬剤師に連絡があり、「適切な手洗い方法を児童に指導して欲しい」との依頼があった。

問302

学校薬剤師は小学校を訪れて児童に手洗いの指導を行った。手洗いが不十分になりやすく、指導の優先度が高い部位は以下のどれか。2つ選べ。

1 指先



2 手の甲



3 手のひら



4 指の付け根の間



問303

手洗いが、感染防止に有効である可能性の高い感染症はどれか。2つ選べ。

1. C型肝炎
2. デング熱
3. インフルエンザ
4. 日本脳炎
5. O-157感染症

解答

問302 : 1, 4問303 : 3, 5

解説

問302

手のひらや手の甲は意識しなくてもごしごし洗います。指先や、指の付け根の間 が手洗いが不十分になりやすい部位です。

以上より、正解は 1,4 です。

問303

選択肢 1 ですが

C型肝炎の原因は、C型肝炎ウイルスです。感染している人の血液が、他の人の血液内に入ることにより感染します。手洗いでは血液の体内への侵入を防止するのに有効とは、いえません。よって、選択肢1は誤りです。

選択肢2ですが

デング熱は、蚊によって媒介される感染症です。手洗いでは蚊による感染を防止するのに有効とは、いえません。よって、選択肢2は誤りです。

選択肢3は、正しい選択肢です。

手に付着したウイルスを除去することで感染防止が期待されます。

選択肢4ですが

日本脳炎は、蚊によって媒介される感染症です。手洗いでは蚊による感染を防止するのに有効とは、いえません。よって、選択肢4は誤りです。

選択肢5は、正しい選択肢です。

手に付着した大腸菌を除去することで感染防止が期待されます。

以上より、正解は3,5です。